

ライトラインって こんなにすごい!



2023年に開業したライトライン。
たくさんの方にご利用いただき、駅東側ではさまざまな効果が出ています。

主な整備効果

ライトライン
沿線では **約1,900人** 転入超過
※R3.6~R6.9の累計 出典:宇都宮市「住民基本台帳人口」

ライトライン
沿線人口 **約5,600人** 増加
※H24.9:約5.9万人⇒R6.9:約6.4万人 出典:宇都宮市「住民基本台帳人口」

観光客数 **約192万人** 増加
出典:宇都宮市「観光動態調査」

栃木県内の地価上昇ランキング(住宅地)

ライトライン沿線が
トップ3
独占!!

出典:国土交通省「地価公示」

順位	所在地	R6→R7 変動率
1	ゆいの杜4丁目付近	+ 7.7%
2	陽東5丁目付近	+ 4.3%
	陽東8丁目付近	+ 4.3%

3分で分かる! /
ライトライン整備効果



ライトラインをもっと知るなら うつのみやオープンスクエア



- ジオラマ展示
- グッズや一日乗車券販売
- マンホールカード配布
- みんなで彩るルートマップ
- クイズにチャレンジ

まちづくりやライトラインに関する情報を、パネルや映像などで分かりやすく発信しています。
ライトラインオフィシャルグッズも販売中。

詳しくは
コチラ



JR宇都宮駅西口 トナリエ宇都宮3F

駅西側延伸に向けてパワーアップ!
ライトライン応援団 teamNEXT 2.0

ライトラインを応援する「teamNEXT」が駅西側延伸に向けてリニューアル。登録して、ココでしか手に入らない限定グッズと最新情報をゲット!

LINEで簡単登録!
個人向け teamNEXT+
グッズも色々!

オプションが拡大!
企業・団体・学校向け teamNEXT BIZ

詳しくはコチラ

ライトラインの情報は公式サイトやSNSで

公式サイトでライトラインを知ろう!
ポータルサイト

最新情報はこちら!
公式X

メンバー限定のお知らせも!
LINE公式アカウント

ライトラインは 西へ。

ライトライン
駅西側延伸リーフレット
Vol.1.5



LIGHTLINE
GO WEST



受賞実績

2024年
ローレル賞

第23回
日本鉄道賞 特別賞

交通関係優良団体
大臣表彰
(地域公共交通部門)

JIDAデザイン
ミュージアムセレクション
Vol.24

第45回(2023年度)
国際交通安全学会賞
業績部門

令和5年度
全建賞
インフラの部

2023年
日経優秀製品・サービス賞
最優秀賞

※2026年1月時点

バリアフリー・ユニバーサルデザイン
推進功労者表彰
内閣総理大臣表彰

グッドデザイン賞
グッドフォーカス賞 [地域社会デザイン]

第33回
**地球環境大賞
環境大臣賞**

ライトライン 駅西側延伸後の 大通りの導入空間イメージ

ライトラインは、JR宇都宮駅西側への延伸に向けて、「宇都宮駅東口停留場」から「県教育会館付近」までの約5kmを整備区間として各種検討を行っています。この紙面では、延伸時の道路の車線数などのイメージをお知らせします。

**人中心の
ウォーカブルな空間へ**

**バスや地域内交通など
公共交通ネットワークを充実**

**クルマ・自転車も
安全・快適・円滑に**



教育会館前 III区間

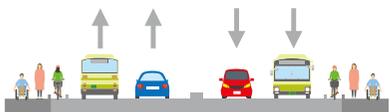
桜通り十文字 II区間

裁判所前 I区間

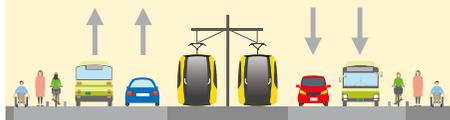
JR宇都宮駅西口

片側2車線(現況同様)

現況 教育会館前方向 桜通り十文字方向



導入後



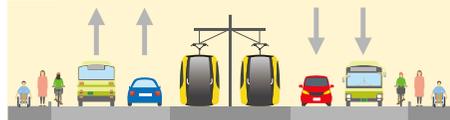
- 車両留置を行う施設やパーク&ライド駐車場などの設置を路外に検討
- 現況と同様に自転車道を整備

片側3車線から2車線に

現況 桜通り十文字方向 裁判所前方向



導入後



- 路肩を活用した自転車の走行空間を整備

片側3車線から1車線に

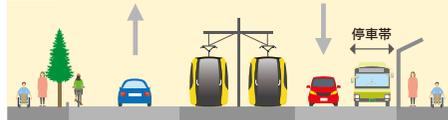
宮の橋交差点周辺

片側2車線から1車線に

現況 裁判所前方向 宮の橋交差点方向

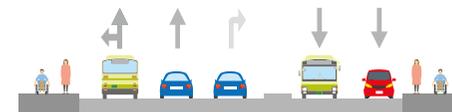


導入後



- バスの乗降や荷捌き活動ができるよう、本線とは別に停車帯を設置
- 路肩を活用した自転車の走行空間を整備

現況 宮の橋交差点方向 JR宇都宮駅方向



導入後



- 速達性や鉄道との乗継利便性が高く、一体的で広がりのある駅前空間の確保・活用が可能な高架で整備
- バスと一般自動車の交通導線を分離

街なかのクルマも安全・快適・円滑に

01 都心環状線などの道路整備

宇都宮市では、誰もが移動しやすく、円滑な交通を確保するため「3環状12放射道路」という道路体系(道路ネットワーク)を構築しています。

「3環状」のうち、大通りに最も近いのが、現在整備中で令和8年開通予定の「都心環状線」。こうした環状道路をしっかりと整備し、街なかへの通過交通の迂回を促進することで、過度な自動車流入を抑制します。



(図)環状線による迂回イメージ



(図)3環状12放射

02 必要な交差点改良 (大通りやいちょう通りなど) 信号時間を広い範囲で調整

大通りの全ての交差点に右折レーンを設置するほか、大通りや周辺の道路では右折レーンを長くし、円滑な交通を確保します。また、信号時間の調整を広い範囲(面的)で行っていきます。

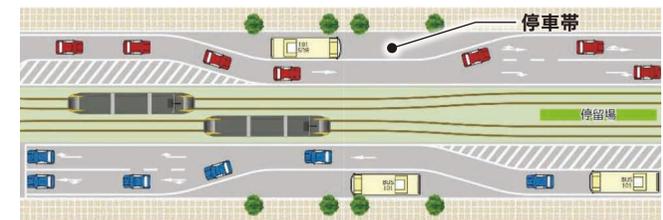
交差点改良:
右折レーンを長くする例



すべての区間の交差点に右折レーンを設置します。

03 本線とは別に停車帯を設置

バスの乗降、トラックの荷捌き等のため、それぞれ「停車帯」を設置し、一般車両の円滑な通行を確保します。



(図)バス停留所付近の停車帯イメージ



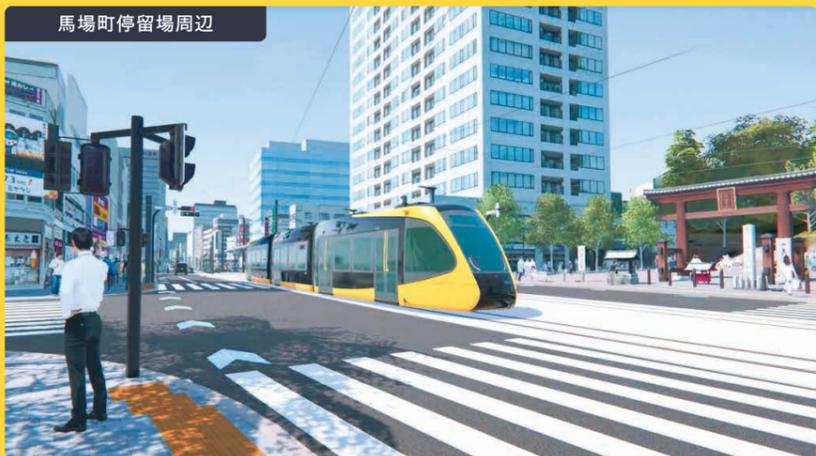
見てみよう！ 駅西側の未来

現在、JR宇都宮駅東側を走るライトライン。宇都宮の公共交通の「東西の軸」として、今後は、2036年3月を目標に駅西側の整備を進めていきます。この紙面では、駅西側のさまざまな取り組みを紹介します。



駅西側をライトラインが走ります

馬場町停留場周辺



馬場町停留場～県庁前停留場



県庁前停留場周辺



▼ 動画で見る



整備区間

整備区間は、「宇都宮駅東口～県教育会館付近」。さらに、大谷地域までを検討区間としています。

停留場

右の地図の通り12カ所を想定。そのうち3カ所はトランジットセンターとして、乗り継ぎに便利な施設の整備を検討しています。

つながる、広がる、変わっていく。

ライトラインの延伸に合わせて、宇都宮市全域の路線バスの再編や、都心部(街なか)のまちづくりを進めていきます。



- 停留場 ※停留場名称は仮称
- ◎ トランジットセンター (乗り継ぎ拠点)
- 検討区間

街なかはワクワクする ウォーカブルな空間へ



宇都宮のシンボル「二荒山神社」や「オリオン通り」などがある「街なか」では、さまざまなまちの機能が充実し、人とさまざまな交通が共存した人中心で居心地の良い空間の実現に向け、官民協働のまちづくりが始まっています。

ワクワクするウォーカブルなまちを一緒に実現！ 2023年スタート！ 都心部まちづくり貢献開発支援事業

まちづくりに貢献する民間事業者の開発に、次のような支援を行います。

事業費の支援

容積率の緩和 (高層層の建物を建てられる)

詳しくは
コチラ▶

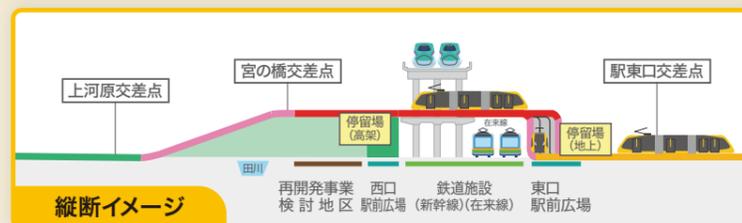


JR宇都宮駅の横断

ライトラインの軌道(レール)を高架化し、駅ビル北側の新幹線高架(駅舎3階部分)と在来線(駅舎1階部分)の間(駅舎2階部分)を横断します。



横断選定ルート



縦断イメージ

県都の顔 JR宇都宮駅西口もつぎの未来へ

ライトライン開業後、2050年に向けたまちの姿



街なかと駅をつなぐ周辺民間街区と一体となった緑あふれる人中心の居心地の良い空間



県都の玄関口にふさわしい風格と、宇都宮ならではの魅力あるふれる空間を官民協働で作りに上げていくため、幅広く意見をお聞きしながら検討を進めています。

ライトラインの整備に合わせて、段階的に駅前広場の整備を実施し、一般車とバス・タクシーの動線を分離するなど、駅前への車両の入り方を変更し、交通の円滑化を行っていきます。

※一般車は、宮の橋交差点から駅前へ入れなくなります。

沿線外も公共交通を便利に！

宇都宮市が目指すのは「階層性のある公共交通ネットワーク」。ライトラインを東西の軸として、バスなどの公共交通の充実を図ります。

バス

- 開業時には、ライトラインと重複する大通り区間のバスの一部を桜通り十文字周辺を起終点とするなど、3割程度削減。生み出されるバスリソースを、1 郊外部と都心部をつなぐ「幹線バス」や 2 都心部内を走る「循環バス」に振り分けず。
- 捻出するバスリソースは約3,000km^(※)
- ・市域内の平均運行距離に換算すると約300本相当^(※)

地域内交通

これまで地域と連携し、郊外部を中心に導入してきましたが、今後は、市街地部への導入を推進していきます。

※令和5年9月時点の運行状況をもとに市調査により算出

ライトライン 駅西側延伸時のバスネットワークイメージ



2 循環バスの充実

都心部の回遊性を向上

乗継割引制度でライトラインをもっと使いやすく

